

## 空襲体験画リスト Dセット

解説パネル「…」はその下段に表示した絵画群全体の総説となっています。

## 解説パネル「爆撃」

B29など米軍機による空爆の様子が描かれています。

作者名	絵画名	整理番号
加瀬 美代	荒川附近に墜落するB29	D1 (1)
吉田 洋	日本軍のサーチライトに照らされるB29	D2 (4)
金子 弘	頭上を交差して飛ぶB29の群れ	D3 (6)
小森 弘	自宅の縁側から見た東京初空襲	D4 (18)
石川 堯	音もなく侵入するB29	D5 (19)
浅見 清三	京橋区役所屋上から見た本所・深川方面	D6 (21)
土田 宏	大晦日の空襲警報	D7 (24)

## 解説パネル「遠望」

直接空襲を受けなかった周縁地域や疎開先から、空襲で炎上する東京の様子を見た記憶が描かれています。

作者名	絵画名	整理番号
堀切 正二郎	じゅうたん爆撃	D8 (32)
一ノ瀬 寿子	疎開先の伊豆・伊東から燃える東京を見る	D9 (33)
橋本 公佑	疎開地(茨城県)から見た3月10日の東京	D10 (34)
高瀬 実子	深川上空の不気味な光	D11 (35)
勝見 秀三郎	炎上する向島方面	D12 (36)
小野 博	1945年の記憶・東都炎上	D13 (37)
染井 隆重	矢切の渡しから見た、炎上する墨田・江東方面	D14 (38)
村尾 宵二	世田谷から見た、炎に染まる空とB29	D15 (39)
土屋 武倫	世田谷から見た、炎上する浅草・本所方面	D16 (40)
内藤 一彦	自宅のベランダから下町方面を見る	D17 (41)
濱中 榮次	土浦から東京大空襲を遠望	D18 (42)
牟田口 直道	高円寺から見た、炎に染まる空とB29	D19 (43)
野村 昭	疎開先で見た空襲後の東京上空～消えない黒雲	D20 (44)
野村 昭	疎開先の鴻巣で	D21 (45)
脇 三夫	火鳴りの底から～世田谷から見た火炎の竜巻	D22 (46)

## 解説パネル「炎のなかで」

空襲火災の中を逃げまどった人々が炎のなかで目撃した光景が描かれています。

作者名	絵画名	整理番号
狩野 光男	言問橋炎上～家族全員を亡くした橋の記憶	D23 (48)
三井 喜久雄	総武線ガード下で炎に取り囲まれ亡くなった人々	D24 (49)
村山 彰	4月の空襲で燃える板橋4丁目付近	D25 (50)
河原田 継男	火炎のなか母を待つわたし～向島・秋葉神社付近	D26 (54)
吉良 ふさ	中野の空襲～炎の中を兄と2人で逃げる	D27 (55)
宮入 恵次郎	浅草にて-逃げまどう母子	D28 (58)
宮本 謙三	焼夷弾直撃	D29 (59)
熊谷 直和	赤い鳥	D30 (65)
工藤 愛子	北十間川のほとりで	D31 (70)
斎藤 栄子	炎が隅田川の水面をなめる・炎上する小舟	D32 (75)
山下 盛子	炎の中、足もとに飛んできた火ぶくれの赤ちゃん	D33 (85)
山岸 修	浅草橋交差点で炎に取り囲まれた人々	D34 (86)
石黒 光江	叔母に背負われて逃げる～足に食い込んだ背負帯	D35 (99)
石田 恭子	扇橋国民(小)学校・出入口に殺到する人々	D36 (103)
川井 満	昔、街が焼かれた～虫けらのように	D37 (104)
渡辺 忍	深川・恐怖の夜のはじまり	D38 (117)
美野川 邦久	明治座内から～火焰のなか次々に倒れる人々	D39 (121)
豊田 照夫	空襲で燃える家々	D40 (126)

## 解説パネル「死者・負傷者・避難民」

空襲直後に目撃した死者、負傷者、避難民の姿が描かれています。

作者名	絵画名	整理番号
狩野 光男	言問橋階段の惨状	D41 (133)
堀切 正二郎	石原町・十字路	D42 (140)
堀切 正二郎	太田栄子さん一家	D43 (144)
羽部 権四郎	江東橋・夜明けの惨状	D44 (159)
羽部 権四郎	亀戸で見たもの	D45 (160)
金田 昌子	姉を捜して・3へその緒で結ばれた母子の遺体	D46 (168)
恒川 貞雄	橋上から見た光景～遺体の引き上げ	D47 (171)

作者名	絵画名	整理番号
坂本 邦男	防火用水に浸かったまま白骨化した人	D48 (174)
勝見 秀三郎	四つ木へ向かう避難民の長い列	D49 (182)
松原 伝蔵	消防署の下で立ったまま死んでいる人たち	D50 (185)
松崎 静江	流れ来る死体を見ながら学校へ	D51 (187)
青柳 友治郎	遺体で埋めつくされた大横川ー菊川橋付近	D52 (189)
石川 実揆彦	路上で亡くなっていた3人	D53 (190)
石川 実揆彦	空襲焼死者の仮火葬の跡	D54 (191)
石田 百合子	亀戸付近の惨状～炭の人形のようになった人々	D55 (192)
川上 紀雄	空襲直後の惨状	D56 (194)
前野 栄造	亀戸ガード下・裸のマネキンのようになった人々	D57 (195)
中村 みつ	遺体の前で放心状態になった人たち	D58 (197)
中村 弘子	中川沿岸・夜明けの惨状～呆然と立ちすくむ親子	D59 (198)
辻本 豊子	マネキン人形のようになった焼死体	D60 (202)
辻本 豊子	鐘ヶ淵駅近くの側溝を流れる赤ちゃんの手	D61 (203)

### 解説パネル「遺体の収容と仮埋葬」

軍や警防団・警察による空襲犠牲者の遺体の収容と仮埋葬の様子が描かれています。

作者名	絵画名	整理番号
宮坂 清	言問橋際・隅田川沿いに並べられた死体	D62 (225)
金田 昌子	姉を捜して・1 目の前を走り去った遺体を積むトラック	D63 (226)
金田 昌子	姉を捜して・2 本所・中和公園で燃やされる死体の山	D64 (228)
古川 千賀子	厩橋のたもと～引きあげられた遺体	D65 (229)
小島 久雄	蒲田・海老取川に漂着した空襲犠牲者	D66 (230)
小島 久雄	蒲田・海老取川に漂着した空襲犠牲者	D67 (231)
中村 俊子	父よ弟よ～猿江恩賜公園に埋められた愛する家族	D68 (232)
中村 俊子	亡くなった父と弟に傘をさしかける	D69 (233)
田熊 貞三	3月13日の緑町公園・家族を捜す人々	D70 (234)
田熊 貞三	緑町公園に集められた犠牲者の遺体	D71 (235)
田村 稻雄	砂町川の遺体引き上げ作業	D72 (236)
土田 宏	原公園の空襲犠牲者仮埋葬	D73 (237)

### 解説パネル「学童疎開と戦争孤児」

空襲のために地方に疎開していた子どもたちや両親を亡くした戦争孤児の思いをその軌跡をたどりながら描いています。

作者名	絵画名	整理番号
星野 光世	戦争孤児の人生・1 ふるさとの下町	D74 (250)
星野 光世	戦争孤児の人生・2 天南寺に火の粉が落ちる	D75 (251)
星野 光世	戦争孤児の人生・3 焼夷弾を落とすB29	D76 (252)
星野 光世	戦争孤児の人生・4 天南寺にやってきた火傷のおじ	D77 (253)
星野 光世	戦争孤児の人生・5 家族の死を知らされる	D78 (254)
星野 光世	戦争孤児の人生・6 わが家の焼け跡を見る	D79 (255)
星野 光世	戦争孤児の人生・7 箸のいらぬ食事	D80 (256)
星野 光世	戦争孤児の人生・8 親戚の家から逃げる	D81 (257)
星野 光世	山を越えて逃げ出す幼いきょうだい	D82 (258)
星野 光世	戦争孤児の人生・9 山頂で水を飲む	D83 (259)
星野 光世	戦争孤児の人生・10 山頂で家族を思い出す	D84 (260)
星野 光世	戦争孤児の人生・11 祖母の涙	D85 (261)
星野 光世	戦争孤児の人生・12 きょうだいの別れ	D86 (262)
星野 光世	戦争孤児の人生・13 親戚宅での農作業	D87 (263)
星野 光世	山で両親を想う	D88 (266)
星野 光世	月を見て両親を思う兄妹	D89 (267)
星野 光世	戦争孤児の人生・14 東京の夜景	D90 (264)
星野 光世	戦争孤児の人生・15 結婚式で	D91 (265)
村上 敏子	疎開先で親を思い出して泣く子どもたち	D92 (268)
宮本 謙三	飢え	D93 (269)
笈川 芳太郎	疎開先で汽車に呼びかける子供たち	D94 (270)
辻 博也	私が孤児になるまでー自宅から逃げる	D95 (271)
辻 博也	私が孤児になるまでー改正通り・ジャリ置場	D96 (272)
辻 博也	私が孤児になるまでー母との再会	D97 (273)
辻 博也	私が孤児になるまでー助けを求める	D98 (274)
辻 博也	私が孤児になるまでー同愛病院	D99 (275)
辻 博也	私が孤児になるまでー母の遺体を運ぶ	D100 (276)